



角型手洗器 (キャビネットつき)

200-311

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

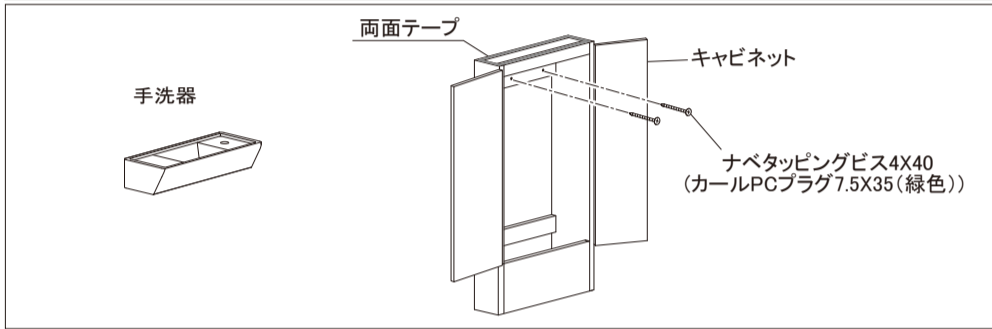
この施工説明書は別紙「角型手洗器(手洗カウンター) 施工上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、角型手洗器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

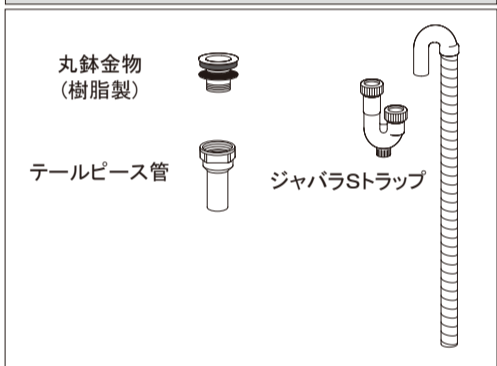
製品同梱明細

■施工される際に各部材をご確認のうえ、ご使用ください。

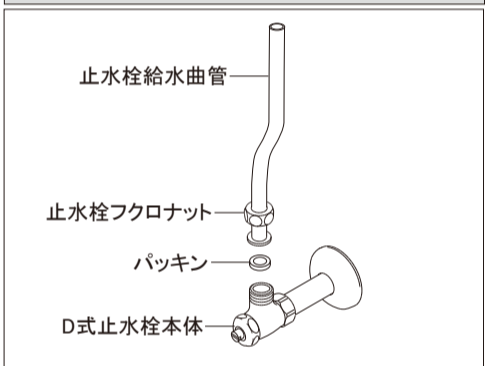
手洗器・キャビネット



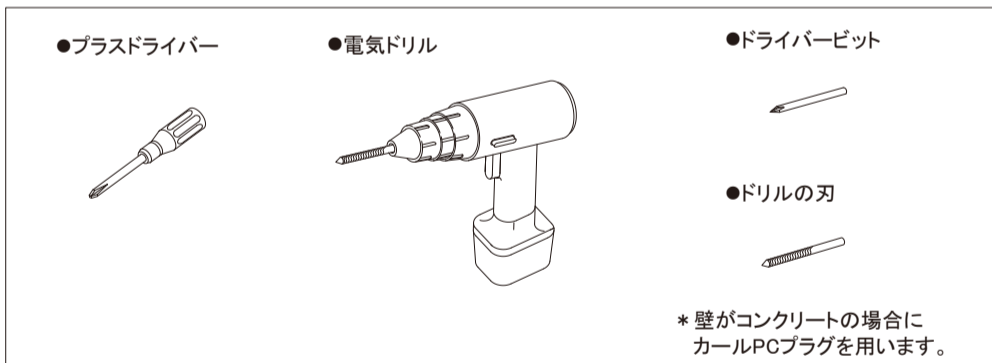
丸鉢つきジャバラストラップセット



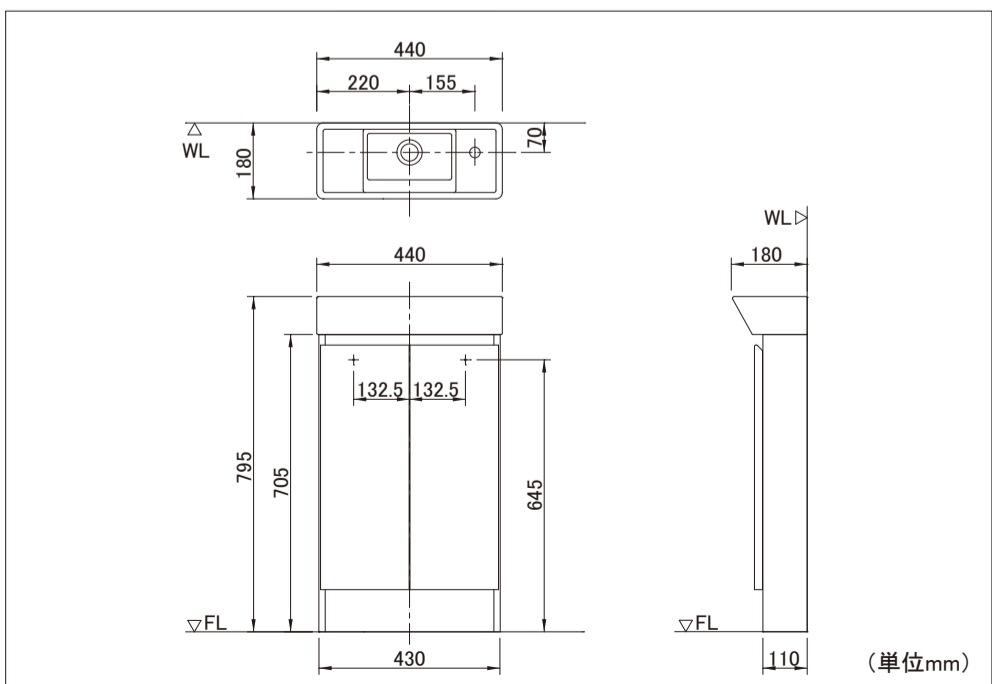
止水栓セット



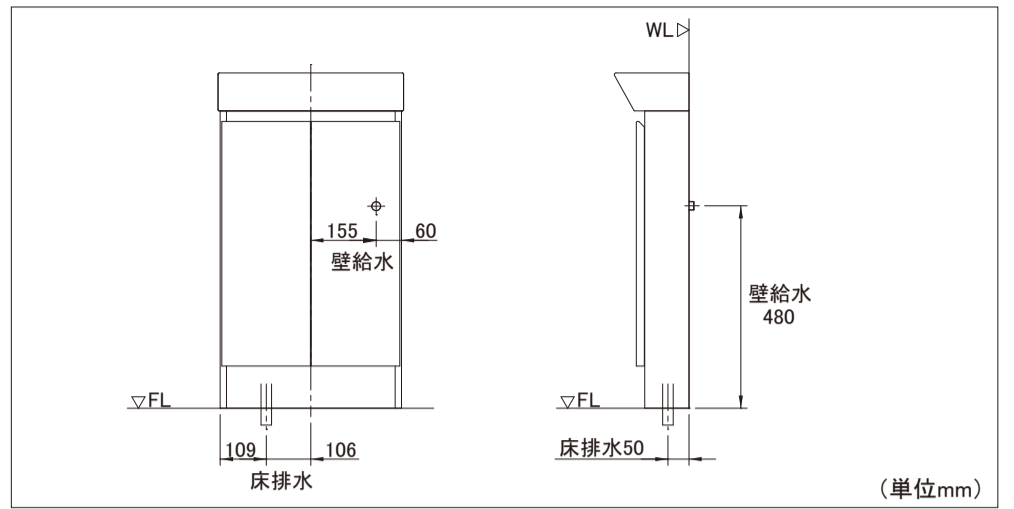
施工に必要な工具



寸法図



給水・排水の取出し位置



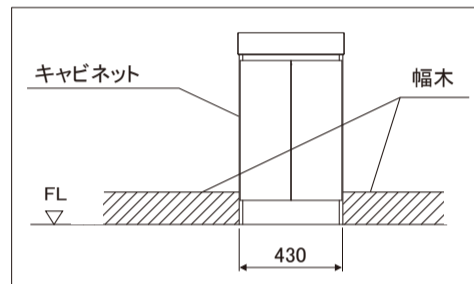
取付けの前に

補強材について

- 建築工事(別途工事)にて、キャビネットを固定するネジ位置に補強材(幅90ミリ×厚さ30ミリ)をあらかじめ入れておいてください。
- タイル・コンクリート壁の場合は付属のカールPCプラグを打ち込み使用してください。

必ず実行 ALC壁には取付けないでください。取付強度が保てず、落下する恐れがあります。

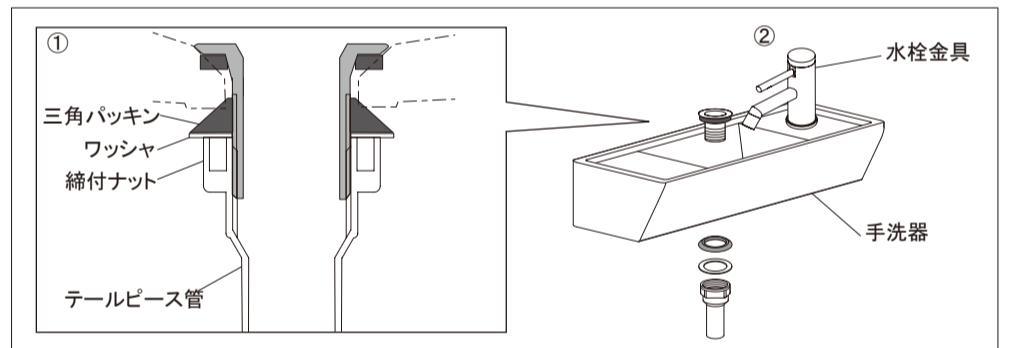
幅木について



幅木をカットしてください。幅木をカットしないとキャビネットと干渉してすきまが発生したり、しっかりと固定できずガタツキの原因になります。

取付方法

1. 排水上部(付属)、水栓金具(別売)を取付けます。

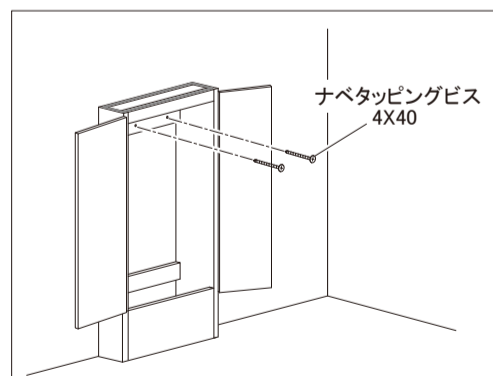


①上図のように手洗器に排水金具のテールピース管までを取付けます。

注意 締付ナットは、手洗器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

②手洗器に水栓金具を取付けます。
*取付方法の詳細は器具の説明書をご確認ください。

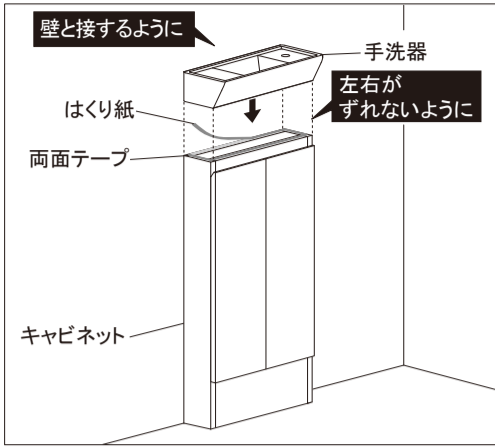
2. キャビネットを取付けます。



キャビネットをナベタッピングビスで固定します。
*カールPCプラグを使用するときは7.5X35(緑色)を使用してください。

取付方法(つづき)

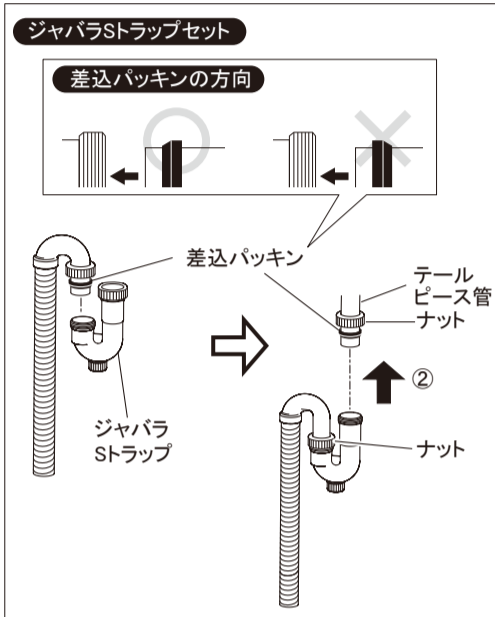
3. 手洗器を取付けます。



キャビネット上面の両面テープのはくり紙をはがしてから、手洗器をキャビネットの上にのせます。
 * 手洗器は壁と接するように取付けてください。
 * 手洗器の左右と化粧カバーの左右がずれないように取付けてください。

4. 排水金具、止水栓を取付けます。

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉めて取付作業を行ってください。



- ① ジャバラストラップのパーツを仮組みします。
* 差込パッキンの方向にご確認ください。
- ② テールピース管に手順①で仮組みしたジャバラストラップを組付けます。
* 差込パッキンの方向にご確認ください。
- ③ キャビネット内に収まるように各パーツの向きを調整し、排水の取出口とジャバラストラップの排水ホースを接続します。
- ④ ジャバラストラップのナット(2カ所)を手締めでしっかりと締付けて固定します。

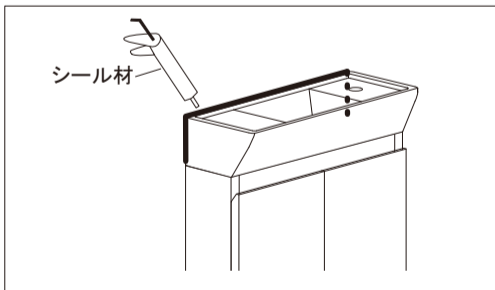
- ⑦ 給水管(付属)の両端にシールテープを巻き、壁面のネジ部に給水管および止水栓本体を固定します。

注意 給水管および止水栓本体を取付ける際、逆方向にまわしてゆるめると漏水の原因になります。ゆるめてしまった場合は、もう一度シールテープを巻き直してください。

- ⑧ 給水曲管(付属)に、取付ナット(付属)、ナット、スリップパッキン、差込パッキンを順にはめ込みます。
- ⑨ 給水曲管を支持金具の奥までしっかりと差込み、ナットを「レンチ」などでしっかりと締付けます。
- ⑩ パッキン(付属)を、取付ナットにはめ込んでから、取付ナットを止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

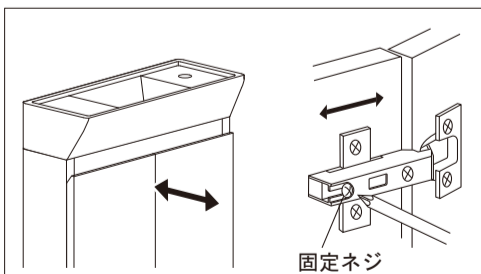
注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご確認ください。

5. きれいに仕上げます。

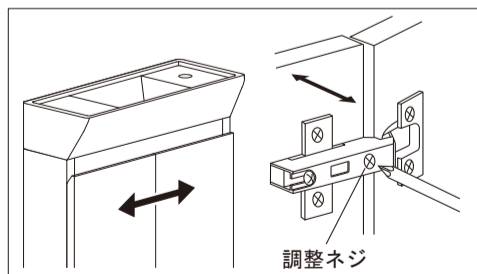


手洗器と壁とのすきま(境界)にシリコンコーキングなどのシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

6. キャビネットの扉の調整(扉のふぞろいが生じた場合)



●扉の前後の調整
固定ネジをゆるめて蝶番を前後に動かして調整した後、固定ネジを締めなおします。



●扉の左右の調整
固定ネジを締めたままで、調整ネジを回して調整してください。
(調整後は固定ネジを増し締めしてください。)

取付後の確認

- ① 取付状態の確認
各部材の取付ネジが十分に締まっていることを確認してください。ゆるみがある場合は十分に締付けなおしてください。
また、各部材のガタツキや壁とのすきまがないか確認をしてください。ガタツキやすきまがある場合は必ずネジ取付位置を変えて取付けなおしてください。
- ② 水栓の吐水量の確認、及び調整
水栓と吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。
* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。
* 吐水量が手洗器の排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
- ③ 漏水、排水の確認
通水・排水経路の接続各部に水もれがないか確認をしてください。
排水がスムーズに行われるか確認をしてください。



注意

メンテナンスなどで、止水栓を閉め、再び開く場合などには、水栓の吐水量の確認、及び調整を必ず行ってください。(取付後の確認 ②)